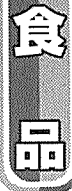


ズに対応し

アイカツ！ソーセージ

おいしさに仕上げたフィッシュソーセージである。カルシウムたっぷりで子供たちの食生活を応援する。全国に設置されている「アイカツ！」のボックスから「アイカツ！」のボックスで使用可能な「アイカツ！ソーカード」1枚入り。



カードはフィッシュソーセージオリジナル全10種がある。

「アイカツ！」とは小学生児童を中心に大人気のテレビアニメ。トップアイドルを目指す少女たち。カルシウムたっぷりで子供たちの食生活を応援する。全国に設置されている「アイカツ！」のボックスから「アイカツ！」のボックスで使用可能な「アイカツ！ソーカード」1枚入り。

タイで和牛をプロモ

首都圏MP輸出推進協

首都圏ミートパッカーパニオン社長は2月輸出推進協議会(代表理事末、バンコクのクラウン事阿部昌史ミートコンプラザホテルで在タイ日

農林水産省統計情報部発表

食鳥肉相場

Table with 2 columns: 月・日 (Date) and 相場 (Market price) for various poultry items like Chicken, Turkey, etc.

本大使を含む120人以上を招き、和牛のプロモーションを3部構成で行った。

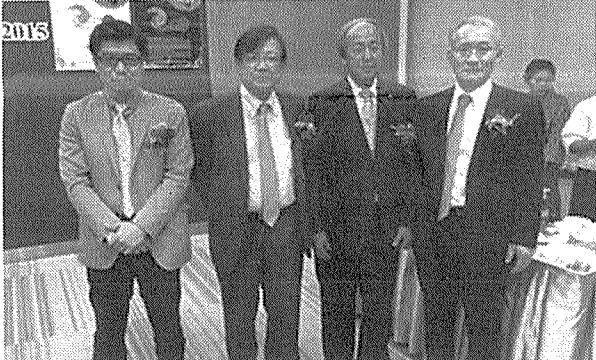
第1部は、阿部代表が協議会の趣旨と活動内容を紹介するあいさつで始まり、講演は上里ファームの植井徹夫社長が、自社の600頭いる牛群の管理に連れ、「彩さい牛」の品質における優位性を説明。

育成時期、肥育時期の飼養管理が個体ごとに行われていること、日本独自の稲わらが粗飼料に使われていること、親子3代まで血統が標記される

開催に際し中村理事長は「かねてより鹿児島県は「かわてより鹿児島県産牛を購買いただき、厚くお礼申し上げたい。購買環境が大変厳しい中ではあるが、精いっぱいの上を上げたい」とお願いしている。

全国畜産農業協同組合連合会・茨城県畜産農業協同組合連合会・雪印種苗(株)が共催し、東京食肉市場(株)が後援する第4回「名人会」肉用牛枝肉共励会が2月23、25日の3日間、東京食肉市場で開催され、全国(8産地)から黒毛和種103頭(去勢71頭、雌32頭)が出品された。

最後に、ミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役が「日本の厳格な枝肉の格付」と「和牛の食文化・すき焼きのおもてなし」について発表された。



左から阿部、佐藤大使、植井、植村の各氏

本全国の銘柄牛を取り扱うプロ集団であると説明した。東京市場では、多い日には850頭以上の牛枝肉がせりかけられる。北は北海道から南は九州・沖縄までの優秀な牛が集まる日本最高峰の肉市場で、いかなるニーズにも対応できる集団だとアピール。また、衛生管理や最新のコンピューター管理された商品にも触れた。

最後は、ミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役が「日本の厳格な枝肉の格付」と「和牛の食文化・すき焼きのおもてなし」について発表された。

第2部では、植村常務が和牛の部位説明としてロイン以外のカタやモモを紹介し、リリースナブルなメニュー提案もできる」と説明。またチャックアイロク、チャックフラックなどの部位の肉質特徴と調理用途の紹介が行われた。

カット実演は肉質の特徴に合った商品化として、チャックアイロクからステーキ、焼き肉、薄切りスライスをつくり、リップロースを使ったステーキは大皿の上で花盛りになった。

前年は輸出記録更新

MLA牛肉産業予測

前にの前夜祭では生産者の市場関係者ら140人が参集。席上、これまでの「名人給与牛」の呼称について、ブランド化推進を目的に「名人和牛」に統一し、本格的な牛に統一し、本格的な推進を図ることが事務局から報告された。

前日の前夜祭では生産者の市場関係者ら140人が参集。席上、これまでの「名人給与牛」の呼称について、ブランド化推進を目的に「名人和牛」に統一し、本格的な牛に統一し、本格的な推進を図ることが事務局から報告された。

平均枝肉重量は51.8kg。オレイン酸55%以上は69頭(プレミアム7頭)。名誉賞牛は「歩留まり基準値が84.2と圧倒的で、ロース、バラとも充実している」と評された。

「隆之栄」、去勢、60kg、86平方cm、No.12、2日南(まつも海道新ひだか黒99)、去勢

優秀賞1席 田中清隆(北海道佐呂間町、「川0020」、去勢、547kg、96平方cm、9.67kg、No.12、2617円、カナカワ)▽同2席(柏かつべ種畜牧場(島根県出雲市、「福久清水」、去勢、536kg、83平方cm、9.3kg、No.11、2551円、桑原)

優秀賞2点(1席、22.5平方cm、バラ厚11.1cm、BMS No.12、300.4円、購買者丸富商店)▽最優秀賞 佐藤宏弥(茨城県常総市、「絵実171」、去勢、534kg、71平方cm、8.0kg、No.12、2692円、マルイミート) 優秀賞1席 田中清隆(北海道佐呂間町、「川0020」、去勢、547kg、96平方cm、9.67kg、No.12、2617円、カナカワ)▽同2席(柏かつべ種畜牧場(島根県出雲市、「福久清水」、去勢、536kg、83平方cm、9.3kg、No.11、2551円、桑原) 4.5率は97.1%、平均枝肉重量は51.8kg。オレイン酸55%以上は69頭(プレミアム7頭)。名誉賞牛は「歩留まり基準値が84.2と圧倒的で、ロース、バラとも充実している」と評された。